

# 障害児教育の充実を求める

2024年「神奈川県議会署名」と「教育全国署名」

にご協力をお願いします。

今年も全国各地で、教育要求実現をめざす運動がくりひろげられています。神奈川県でも「神奈川県議会署名（ゆきとどいた神奈川の障害児教育を求める陳情書）」と「教育全国署名（国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進、教職員定数増、教育無償化、教育条件の改善を!）」の2つの署名にとりくんでいます。

これらは、県立特別支援学校の教職員、保護者の方々や県内外の障害児・者団体とも力を合わせた運動としてすすめています。

障害児教育の充実のために署名へのご協力を心よりお願いいたします。

署名用紙は2024年11月末までにご返送をお願いします。

ゆきとどいた障害児教育をすすめる神奈川県民の会  
〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-1 農機会館402  
TEL: 045(412)5161 FAX: 045(412)5162  
HP: [www.shinsyokyoso.org](http://www.shinsyokyoso.org)

\*署名用紙はホームページよりダウンロードできます。



## < 県内特別支援学校からの声 >

- ・ 特別教室を教室として転用している。
- ・ トイレを着替え場所になっている。
- ・ プールが老朽化して使えないまま放置されている。
- ・ 個別学習のための部屋、クールダウンのための部屋がない。
- ・ 教室不足で図書室が食堂になってしまった。
- ・ 車いすが教室に入らず、廊下にあふれてしまい、通行の妨げになる。
- ・ 多くの生徒が一室にいるので、お互いの行動が気になり、ピリピリしている。
- ・ 広い教室がないので、学年で行う授業は廊下や玄関で行っている。
- ・ 音楽室がなく、楽器の運搬・設置で授業がつぶれる。
- ・ スクールバスの出発と放課後デイサービスの車で駐車場が大混雑。保護者の車が入れない。
- ・ 3人いた担任の先生のうち、1人が年度途中で退職し1人が療休に入ったが、代替の先生が来ない。いつも学部長の先生が入っていて大変そう。
- ・ 看護師やPTの先生が帰りの会をやっていた。

# 2024年度予算での前進

- ☆図書購入費の増額(前年比1.3倍)
- ☆教室の黒板等のホワイトボード化(順次)
- ☆情報機器の整備(タブレット端末を147台整備)
- ☆電子黒板の整備(29校中26校)
- ☆医療的ケア児のための通学支援(福祉車両等40台増車)など

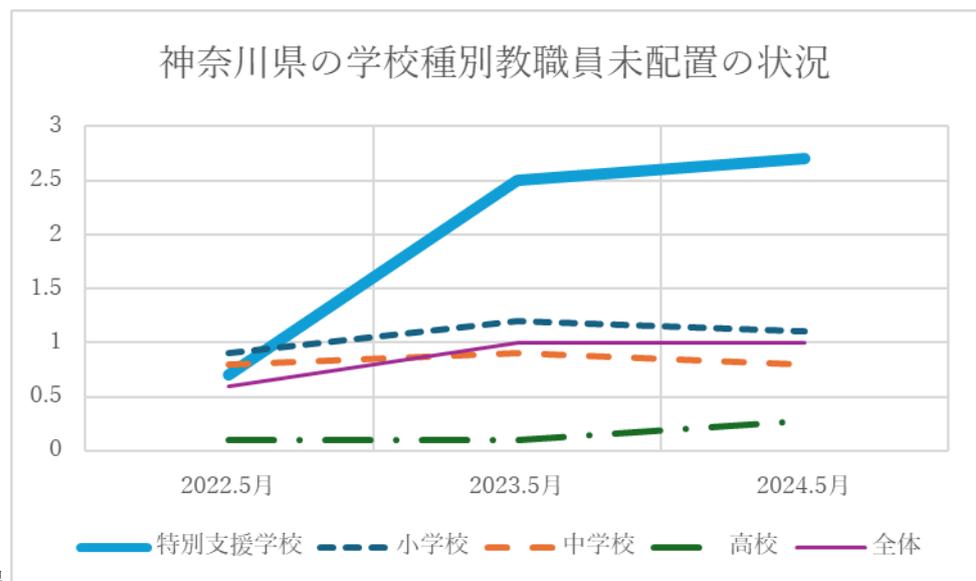
★皆様のご協力によりできた「特別支援学校設置基準」施行にともなう重点とりくみ期間の最終年が2024年度です。しかし、設置が義務づけられているはずの図書室が29校中12校は「図書コーナー」などのオープンなスペース、図書室が物置になっていたり、会議室と兼用になっていたりして、文科省の整備指針の基準に合っていません。

★神奈川県は2校1部門の増設を発表しましたが、その建設は4~7年後(2028~2031年度開校)で、今いる子どもたちには役立ちません。設置基準は新設校のみに適用され、**既存校には当面適用されない(期間は示さず)**となっています。今いる子どもたちのために特別支援学校の1校あたりの人数と通学時間の上限を決めるなど、過大・過密状況をすぐに改善する必要があります。

## ★県立特別支援学校の教職員未配置が深刻です。

教員不足は全国的な課題ですが、神奈川県立特別支援学校の教員不足・未配置は特に深刻で、ここ2年で3.8倍に増加し、教育環境が急速に悪化しています。小・中・高の他校種と比較してもその割合は2.4~9.6倍と突出して高くなっています。2024年5月1日現在の未配置数は**全29校で82人(全体の2.7%)**、2年前は21.4人でした。

皆様の署名で改善してください！



2023年度から他校種より突出

して特別支援学校の未配置が多くなっています。縦軸は未配置の割合(%)です。